

◆経済倶楽部講演会第3984回（6月1日）

# 「なでしこジャパン」 スポーツビジネスの成長戦略

早稲田大学大学院教授、元日本サッカー協会専務理事

平田竹男

- \* ロンドン五輪F組は2位狙いで
- \* サッカーとメルケルの政治基盤
- \* 仮想敵国アメリカヘドイッの秘策
- \* 無策の02年—マツチメイクの反省点
- \* 巨人阪神圧倒、空前の視聴率稼ぐ
- \* 女子サッカーの逆台形モデル
- \* サッカーを普及させるミッシヨン
- \* アメリカとヨーロッパの違い
- \* スタジアムを誰が所有するか
- \* 横浜スタジアムの怪



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、なでしこジャパンを中心にしたスポーツビジネスのお話です。サッカーより野球だという方が経済倶楽部は多いかと思って心配していましたが、なでしこジャパンは旬の話ですので楽しく伺えるはずですよ。平田竹男さんは、通産省でエネルギー問題などで活躍された後、サッカー協会へ華麗な転身をされ、専務理事を4年ほど務められました。

その後、早稲田大学でスポーツビジネスを中心に大学院生を相手に教鞭をとられています。大学院生といっても元スポーツマン、あるいは現役のスポーツマンが多いんですけども、元巨人の桑田真澄さんの指導教官もされています。桑田さんとの共著でいい本を出されてい

ます。

今日は、なでしこジャパンがなぜ世界一になったか、ロンドンオリンピックでのメダルの色は何色だろうか、などといったお話が伺えるはずです。サッカーの国際大会についてはマツチメイキングと言うんですけども、試合をどのように設定するかというのが非常に大事なことで、日本の新聞やテレビはそういうことにはほとんど関心を持たないで、勝った負けただばかり報道していますけれども、それが非常に大事な戦略だという話も面白くお聞きいただけるはずです。

平田さんの書かれた『なでしこジャパンはなぜ世界一になったのか?』という本をここに3冊持ってきていますけれども、いい質問をして